

DXと内製化を同時に推進、「ノーコードでのデータ連携」の威力とは？

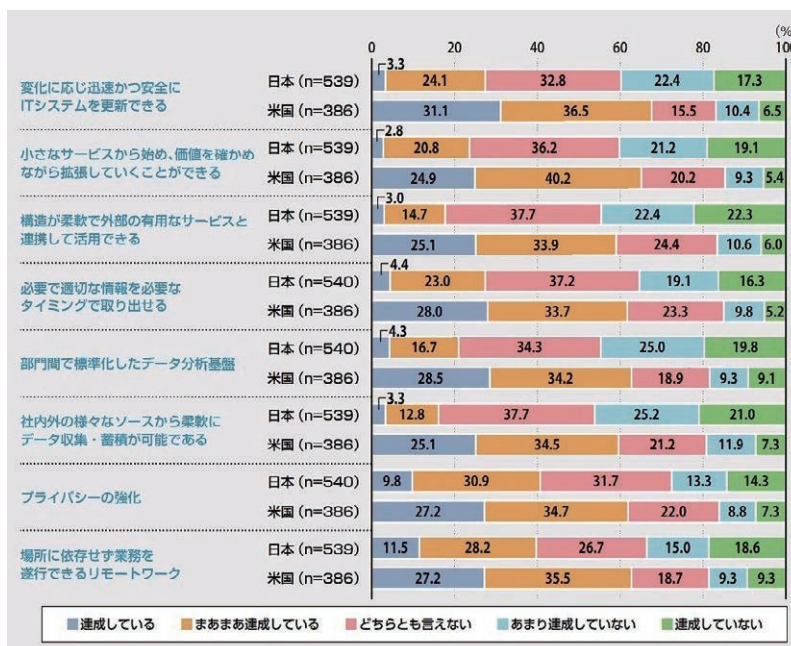
データを活用して既存のビジネスを変革したり、新しいビジネスを創出したりすることがデジタルトランスフォーメーション(DX)の本質だ。ところが、肝心のデータが活用できないと訴える企業は少なくない。その原因の多くは、システムやアプリケーションごとにデータが分断されている「データのサイロ化」である。この問題を解決してデータを連携させ、データ活用を実現するにはどうすればよいのだろうか。ここでは、そのシンプルな方法を紹介する。

DXの本丸「データ活用」を停滞させる2つの問題

多くの企業がデジタルトランスフォーメーション(DX)を経営課題と位置付けて、さまざまな取り組みを進めている。ただし、日米で比較すると、日本企業の進捗はまだままだようだ。

たとえば、ビジネスニーズに対応するためにIT

システムに求められる機能に関するIPAの調査結果(DX白書2023)を見ると、「達成している」「まあまあ達成している」の合計は米国が6〜7割なのに対して、日本は多くの項目で2〜4割にとどまっている。



ビジネスニーズに対応するためにITシステムに求められる機能(達成度)
(出典: IPA DX白書2023)

特にDXの本丸である「データ活用」については、大きく2つの問題がある。1つは、既存システムとの連携が考慮されないまま、DXのための新しいシステムが導入されていることだ。その結果、システム間でのデータ連携・活用が困難になる「データのサイロ化」が起きている。

もう1つが、DX部門や経営層の主導で導入されたものの、現場が本当に使えるシステムになっていないことだ。圧倒的にIT人材が不足する中、業務部門

のITリテラシーは一様ではない。そこに、たとえば高度な機能を持つデータ分析ツールを導入しても、活用できるのは一部の社員に限られる。その結果、社員の多くはデータ活用を「自分事」とはとらえられず、DXの取り組みは停滞してしまう。

現在、多くの企業が直面している「データのサイロ化」「現場が使えないシステム」という問題を解決するには、どのような取り組みが求められるのだろうか。

2つの問題を同時に解決する 「ノーコードでのデータ連携」とは？

現在、DXに取り組む企業が直面している「データのサイロ化」の問題について、パナソニック デジタル株式会社(以下、パナソニック デジタル)中川 雄仁氏は次のように述べる。

「クラウドを導入する企業は増えていますが、すべてがクラウドになることはなく、この先もオンプレミスとクラウドが混在したハイブリッドな環境が続くでしょう。その環境を前提に、データを連携・活用する仕組みを考えることが必要だと思います」(中川氏)

また、IT人材不足について言及するのは、アステリア 営業本部リージョナル営業部 長谷川 聖也氏だ。

「IT人材が不足している結果、データ連携についても外部のベンダーに依存する企業が少なくありません。しかし、それではビジネスの変化のスピードに追いつくことは困難です。ビジネスの変化に合わせてシステムや業務を進化させるためには、ITのスキルがそれほど高くない社内の人材でも利用できるノーコードツールを導入し、内製化を進めることが不可欠だと思います」(長谷川氏)

まさに、この2つの問題を解決できるツールが、

アステリアが開発・提供するデータ連携ツール「ASTERIA Warp(アステリア ワープ)」である。オンプレミス/クラウドの100種類以上のシステムと連携可能で、業務の自動化・効率化を実現できる。EAI/ESB市場^{*1}で17年連続 国内シェア1位^{*2}を誇り、導入企業が1万社を超えるなど実績も豊富だ。

「最大の特長はノーコードで開発できることです。アイコンを使ったGUIの直感的な操作でシステム間のデータ連携やデータ変換が行えるので、IT部門はもちろん、プログラミングなどの専門スキルを持たない業務部門の方でも手軽に利用できます」(長谷川氏)

また、GUIで開発できるので処理の内容が誰にでも分かりやすく、再利用が容易であるという特長もある。たとえば、ある部門で作った連携の仕組みを一部編集して、別部門で再利用することも簡単に実現できる。

^{*1} EAI(Enterprise Application Integration)、ESB(Enterprise Service Bus)

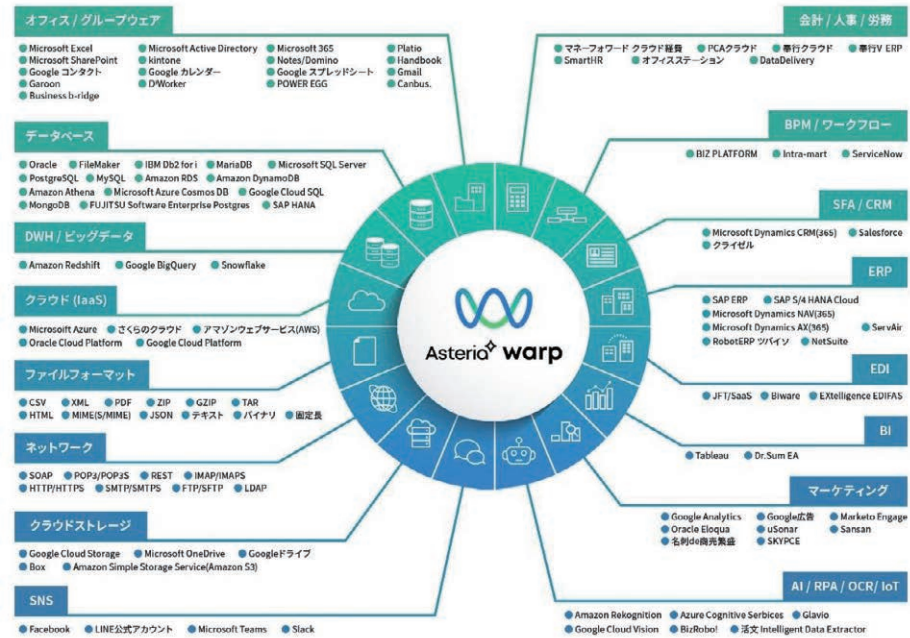
^{*2} テクノ・システム・リサーチ「2023年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」



パナソニック デジタル
中川 雄仁 氏



アステリア
営業本部リージョナル営業部
長谷川 聖也 氏



ASTERIA Warp(アステリアワープ)はオンプレミス/クラウドの100種類以上のシステムと連携可能で、業務の自動化・効率化を実現できる

DXがスルスル進む条件とは？ 充実した学習コンテンツとユーザーコミュニティ、 導入・運用のパートナー

いくら現場部門でも開発できるといっても、いきなり何も無い状態から開発をスタートするのは敷居が高く、学習コンテンツやドキュメントが充実していることも重要となる。そこでぜひ活用したいのが、次のサイトだ。

ASTERIA Warp Developer Network(adn)
<https://support.asteria.com/hc/ja>
NoCode Gate
<https://nocodegate.asteria.com/>

ASTERIA Warp Developer Networkは使い方のマニュアルやFAQ、サンプル、関連ドキュメントをまとめたサイトだ。ユーザー間で直接情報交換を行えるSlackの登録ユーザーは1500名を超え、ユーザー会などのコミュニティ活動も活発だ。

NoCode Gateは、ASTERIA Warpをはじめとする、ノーコード製品の使い方を無料で学べるリスティングポータルサイトだ。トレーニング用の動画が用意され、学習の進捗状況も管理できるので、業務部門がノーコード開発を学ぶには最適だろう。

ASTERIA Warpを本格的に導入するなら、信頼できるパートナーの支援も重要になる。中でも豊富な実績を誇るのが、パナソニック デジタルだ。

「弊社は、アステリアがビジネスを立ち上げた約20年前からのパートナーです。ASTERIA Warpについても長年にわたって社内で活用しており、さまざまなノウハウが蓄積されています。また、関東と関西に80名超のアステリア専任SEを置き、導入からデータ連携の支援、サポートまで幅広く対応しています」(中川氏)

新しい基幹システムと周辺システムの 複雑な連携を実現した三菱電機

ASTERIA Warpは長い歴史を持つ製品であり、導入・活用している企業は1万社を超える。電設資材・住宅設備機器の総合商社である三菱

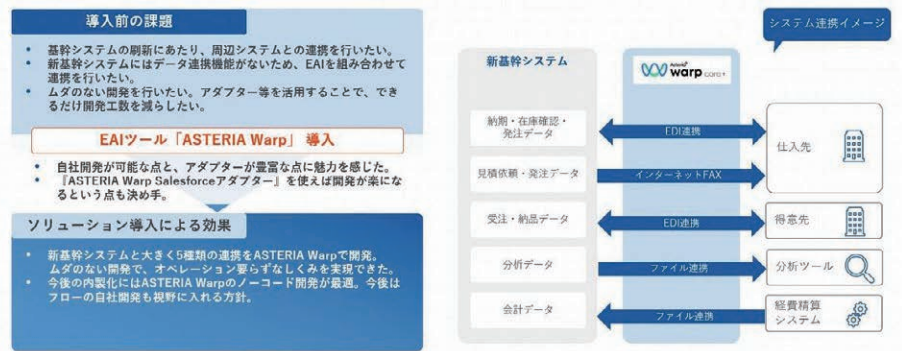
電機もその1社だ。

「もともと社は、オフコンで運用している基幹システムと分析ツールとの連携にASTERIA Warpを

活用していました。2021年8月、基幹システムを刷新することになったのですが、新しい基幹システムにはデータ連携機能がなかったため、周辺システムとの連携に引き続きASTERIA Warpを活用することになりました」(中川氏)

最終的に同社は、新しい基幹システムの5種類の

連携をASTERIA Warpを使って実現。担当者は「もし連携部分をすべてスクラッチで開発していたら、膨大なコストになっていたと思います」と述べる。さらに、今後、仕入先が増えた際には、ASTERIA Warpのノーコード開発を活かして、連携フローを自社で開発することも検討しているという。



ミツワ電機事例：新しい基幹システムで周辺システムとの連携にASTERIA Warpを活用

キーワード先行のDXをASTERIA Warpで「本物のDX」に

冒頭に述べたように、データ活用はDXの本丸だ。にもかかわらず、データ活用の環境を整備しないままシステムを導入し、問題に直面する企業が多い。中川氏は、こうした現状について次のように述べる。

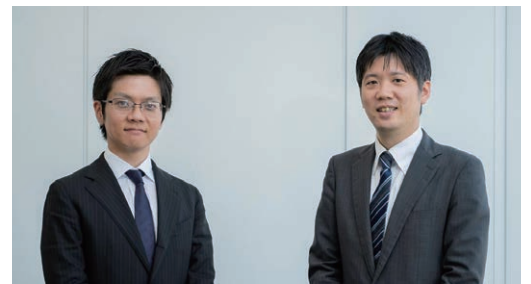
「これまで、DXというキーワードが先行していたと思います。実際にDXを進めるためにシステムを入れてみたら、データのサイロ化や難しくて使えないといった問題に直面し、慌てて弊社にご相談いただくケースは少なくありません」(中川氏)

こうした企業にとって、ASTERIA Warpは課題を一気に解決し、DXを前に進められるツールだ。開発するアステリアの長谷川氏も、今後の展開を次のように述べる。

「より開発しやすい操作性を追求してデータ連携開発の内製化を推進すると共に、トレンドに合わせて

連携先を充実させることでデータ活用の幅をさらに拡大してまいります」(長谷川氏)

いまや「データのサイロ化」「IT人材不足」は、DXに取り組むすべての企業が抱える共通課題だ。だからこそ、この2つを同時に解決できるASTERIA Warpの価値は大きい。興味があれば、ぜひパナソニック デジタルにご相談いただきたい。



●お問い合わせ

パナソニック デジタル株式会社

東京 〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 TEL 03-5148-5578

大阪 〒530-0053 大阪市北区末広町2-40 TEL 06-6315-8634

お問合せフォーム：<https://service.digital.panasonic.co.jp/contact>

ソリューション紹介URL：<https://service.digital.panasonic.co.jp/solution/data-driven/asteria>

アステリア株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1丁目1番39号 恵比寿プライムスクエアタワー19F

お問い合わせフォーム：<https://www.asteria.com/jp/contact/entry/>

ソリューション紹介URL：<https://www.asteria.com/jp/warp/>